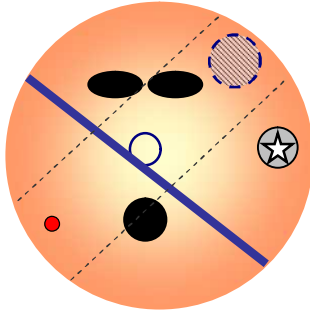


フルローロードリング
ピンはグリップセンターから
1-1/2" ~ 3-3/8"



注意事項

リアクティブボールはそのパフォーマンスを保持するためのメンテナンスが必要です。良いボールクリーナーで定期的にボールを拭くことで、ボールの寿命を保つことができます。投球ごとにマイクロファイバーで不要なオイルや汚れをふき取りましょう。

スタティックウェイト&バランスホールについて - サイドウェイトから 1/2 オンス削ることを推奨しています。バランスホールを掘る場合は、PAP の位置に掘るか、PAP より先 1 インチ以内に掘ってください。

ボールとボウラーをマッチングさせる際、ボウラー、ボウラーのリリース、レーンコンディションなど全てを考慮した上で、【ボールの表面加工】は重要なポイントです。900 グローバルのカバーストックは、汎用性にすぐれておりますので、ぜひご利用になるレーンコンディションに合わせて表面の調整を行ってください。

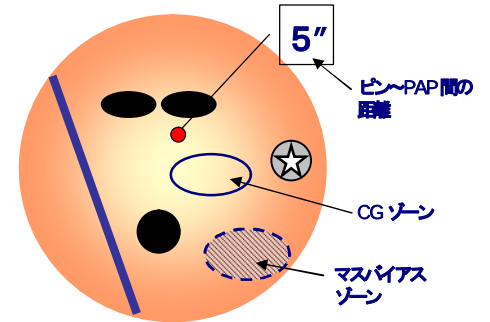
投球を重ねると、ボールにトラック痕が残り、その部分のパフォーマンスが落ちてゆきま。そうした場合には、お近くのプロショップで表面の再調整を行ってください。



本ドリルインストラクションでは、**対称コア**と**非対称コア (マスバイアス)** 両方のコアタイプに対応するドリルパターンをご紹介しています。対称コアの場合は、イラスト中のマスバイアスゾーンは無視し、ピン・CG・PAP の位置だけを参考にしてドリルしてください。

【図の説明】

- ピン**
- PAP (ポジティブアキスポイント)**
- CG ゾーン**
- マスバイアスゾーン (非対称コアのみ)**



実際のボールには、900 グローバルのマスバイアスマークは通常【900】、CGマークは【 】で印されています。AMF 300 のマスバイアスマークは通常【 】、CGマークは【AMF ロゴの】【・】等です。(ボールによってはマークが変わる場合がございます。)

900 グローバル式 ドリルレイアウトの選び方

Step 1 . 正しいレイアウトと表面加工を施すため、(1) から (3) のボウラー特性からそのボウラーに合ったものを選び、ポイントを計算します。

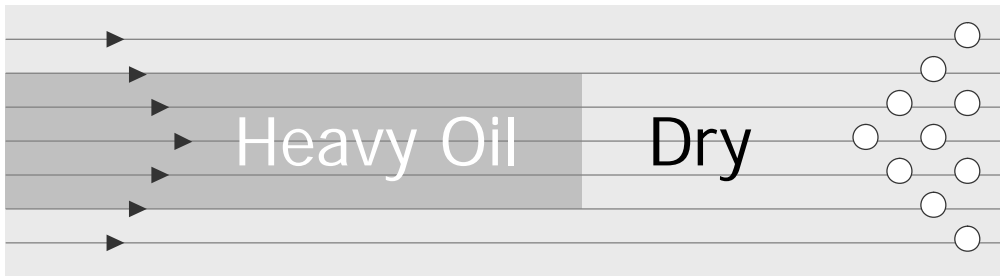
ボウラー特性	1 ポイント	2 ポイント	3 ポイント	
(1) ボールスピード	遅い	平均	速い	(1) のポイント数
(2) ピンに到達するまでの回転数	18 以上	13 ~ 17	12 以下	(2) のポイント数
(3) アクシスローテーション (ボールをリリースした直後、PAP に貼ったテープが自分に向いていたらサイドロール、横に向いていたらフォワードロールです。)	(60 ~ 90°) フォワードロール 	(30 ~ 60°) 45 度チルト 	(0 ~ 30°) サイドロール 	(3) のポイント数
				(1)+(2)+(3) ポイント合計

Step 2 . ポイント合計数とレーンコンディションに合わせてドリルパターンを選びます。

ヘビーオイル レーンコンディション



ウェット&ドライ-ドライバックエンド レーンコンディション



ドライ レーンコンディション



ポイント合計が 3 ~ 4 (弱め)	ポイント合計が 5 ~ 7 (中程度)	ポイント合計が 8 ~ 9 (強め)
<p>5"</p>	<p>4-1/2"</p>	<p>4"</p>
表面加工 中程度 (4000 番)	表面加工 中程度 粗目 (2000 番)	表面加工 粗目 (1000 番)
<p>5"</p>	<p>4-1/2"</p>	<p>4"</p>
表面加工 中程度 (4000 番)	表面加工 中程度 (4000 番)	表面加工 粗目 (1000 番)
<p>5-1/2"</p>	<p>5"</p>	<p>5"</p>
表面加工 ポリッシュ	表面加工 ポリッシュ	表面加工 中ポリッシュ (コンパウンド)